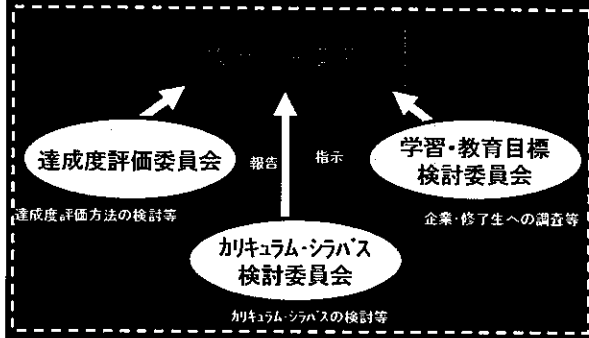


JABEEプログラムの改善状況 について (専攻科教育を中心として)

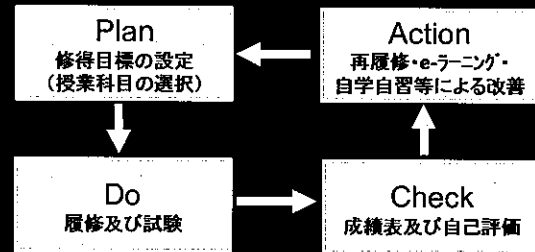
各プログラムの教育改善システム



カリキュラム及び教育内容の改善

- 技術者教育の充実
- 品質管理・安全工学に関する授業の実施
- 科目の必修化(生産工学専攻)
- 「プログラミング演習」
科目の流れの不連続性を回避
- 「生産技術表現演習」
文章および表現方法の修得

学生自身によるPDCAサイクルの構築 (例:生産工学プログラム)



(自己評価シートの活用)

自己評価シート

18年度 期 各学年における自己評価

学生番号: 氏名: 指導教員:

この学年で、どのような能力(学習・教育目標)を修得するのか、について目標を記入して下さい。

専攻科 1 年次	「修得目標」 B 振動工学や熱力学の復習をする C デザイン能力養成の科目は優先する。 E-2 TOEIC400点以上取れるようにする。
専攻科 年次	「実績」
指導教員	「指導内容」 B:筆記試験の成績は良いが、到達目標の自己評価では×の項目が多いことから、このことを反省材料と考えている。授業担当教員より、自主学習に適切な教材等の紹介を受けること。

学習・教育目標と授業科目との対応表(例)

		d	
		(1)	(2)
		成績	成績
A	A-2	制御工学 77 B	a
		センサー工学 90 A	
B		
		振動工学	85 A
		材料強度評価法	88 A
	熱力学	62 C	
		

A-2 基礎工学の基礎知識を理解し、それらを用いて応用問題を解決できる。
B: 機械・材料専門分野の基礎知識を理解し、それらを用いて応用問題を解決できる

授業科目の到達目標一覧表

科目名	学年	学修	到達目標
振動工学	1	SM	1. 構造物の自由振動や強制振動を理解する 2. 振動対策の基本的な考え方を理解する。 3. 振動に関する英語の専門用語を知る。 4. 自分で調査したことを相手に上手く説明できる。
材料強度評価法	1	SM	1. マトリクス法によるトラス構造の解析手法を理解し…… 2. 応力拡大係数の意味を理解し、その値を計算…… 3. ぜい性材料の破壊靭性値から破壊応力を…… 4. 非破壊検査の重要性を認識し、その概要を…… 5. 疲労き裂進展の破壊力学的取り扱いを理解し…… 6. 簡単な構造システムの信頼性を計算できる。 1. …………… 2. ……………
……			

シラバス設計シートの活用

学習・教育目標	関連する 基準項目	対応 科目名	科目の達成目標	評価方法と 基準	
デザイン能力	C-1 工学専門 知識を活用 し、問題解決 に向けて自 主的に考え、 計画を立案・ 実行できる。	C-2 情報編集・ 問題解決能力 (d)-(2)-a) (d)-(2)-b) (d)-(2)-c) (d)-(2)-d) (e) (f) (g) (h)	創造的 計製作	1. 課題を話し てグループでプ ロジェクト学習を 行い、チーム内 でコミュニケー ションを図り、ア イデアを練り、 計画を立てて実 行できること。 2. ……………	「報告書とプ レゼンテ ション」 論理性、問 題発見とそ の対策。 30% ……………

英語能力の改善

授業内容の改善

文法、速読等の自学自習では学ぶのが難しい分野を重点的に実施

自学自習の推進

英語自学自習ソフト(ALC NetAcademy)の導入
英語自学自習ソフトの進捗状況管理
希望者を対象にした補習

専攻科教育環境の整備

専攻科学生室の整備

- ・自学自習(グループ学習)のスペース
- ・進学情報の提供コーナー
- ・専攻科生への連絡コーナー

